

・ は、主な取組み

**基本方針
I**

「いのち」を大切にし、
生命をつなぐ教育を推進する

主要施策 1 「いのちの教育」の推進

- ① 幼児期から小・中・高等学校にわたる「いのちの教育」の推進
 - ・ 実践事例の集約・発信
- ② 学校・家庭・地域が連携した「いのちの教育」の実践
 - ・ 学校を核としながら家庭や地域と連携した「いのちの教育」の実践

※「いのちの教育」 5教振から引き継ぐ本県が重視する教育。以下の3つの柱を立てた取組み
 (1) 自分を大切に思える気持ち（自尊感情）を育てる
 (2) 「いのち」のつながりと多様性に気づかせる
 (3) 「いのち」の尊さと人間としての生き方をしっかり教える

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・ 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小6: 83.5% 中3: 77.8% (H31)	小6: 84.0% 中3: 79.0%	小6: 84.5% 中3: 80.0%	小6: 85.0% 中3: 81.0%	小6: 85.5% 中3: 82.0%	小6: 86.0% 中3: 83.0%
・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小6: 84.8% 中3: 72.3% (H31)	小6: 86.0% 中3: 73.0%	小6: 86.5% 中3: 73.5%	小6: 87.0% 中3: 74.0%	小6: 87.5% 中3: 74.5%	小6: 88.0% 中3: 75.0%

主要施策 2 思いやりの心と規範意識の育成

1 道徳教育・人権教育の充実

- ① 学校における道徳教育・人権教育の充実
 - ・ 教育活動全体を通しての道徳教育・人権教育
- ② 家庭・地域における道徳教育・人権教育の充実
 - ・ 研修会等での道徳教育・人権教育
- ③ 学校・家庭・地域が連携した道徳教育・人権教育の推進
 - ・ 人権擁護委員会の人権教室等と連携した取組み

2 いじめ・不登校未然防止に向けた取組みの推進

- ① 学校におけるいじめ・不登校の未然防止の取組みの推進
 - ・ いじめ等に対する県独自アンケートの実施等による児童生徒に対する理解促進
 - ・ いじめや不登校の悩みを抱える児童生徒に対して教員やSC・SSW等がチームとして支援する体制の整備・強化
- ② 社会全体でのいじめ・不登校未然防止に向けた取組みの促進

- ・教育事務所における「いじめ解決支援チーム」による学校への支援
- ・学校と教育支援センター、フリースクール等との連携強化【拡充】

3 生徒指導・教育相談体制の強化

- ① 学校における生徒指導の充実
 - ・外部講師の研修による教師の指導力向上
- ② 教育相談体制の強化【拡充】
 - ・SSW等の外部人材を活用した相談体制の強化
 - ・SNSや電話等の利用やNPO団体等との連携による相談対応の強化

4 児童生徒と向き合うための環境の充実

- ① 児童生徒の理解促進による学力育成及びよりよい集団づくりのための少人数学級編制の推進
- ② 教育山形「さんさん」プランの効果検証及び今後の展開の検討

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R2	R3	R4	R5	R6
・いじめの認知件数に占める、いじめが解消しているものの割合 （小・中・高・特支）	97.8% （H29 認知分 H31.3.31 時点）	100%に 近づける	100%に 近づける	100%に 近づける	100%に 近づける	100%に 近づける
・学校のきまり（規則）を守っている児童生徒の割合	小6:94.2% 中3:96.2% （H31）	100%に 近づける	100%に 近づける	100%に 近づける	100%に 近づける	100%に 近づける

主要施策 3 生命の継承の大切さに関する教育の推進

- ① 児童生徒が生命の継承の大切さについて主体的に考える教育の実施
 - ・セミナーや授業でのライフデザインについて主体的に考える学習 等
- ② 地域全体による子育て支援の促進
 - ・「子育てするなら山形県」推進本部を中心に関係機関と連携した子育て支援 等

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R2	R3	R4	R5	R6
・本県独自教材※を活用した授業を実施した県立高等学校の割合 ※「生命を次代につなぐ意識啓発事業 高等学校家庭科指導事例集」	84.0% （H30）	100%	100%	100%	100%	100%

基本方針 Ⅱ

豊かな心と健やかな体を育成する

主要施策 4 教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進

1 家庭教育の充実

- ① 子どもの発達段階に応じた保護者等への学習機会の提供・充実
 - ・「子どもの生活習慣に関する指針」の普及・啓発
 - ・家庭教育講座の実施、家庭教育アドバイザーの派遣等
- ② 地域における家庭教育支援者の育成
 - ・子育て経験者や教員退職者等に対し家庭教育支援者としての養成の推進
- ③ 保護者に対する相談体制の構築【拡充】
 - ・SNS や電話等の利用やNPO団体等との連携による相談対応の実施
 - ・教育・福祉・保健等関係機関が連携したきめ細かな相談等支援の推進

2 幼児教育の充実

- ① 幼児共育※の推進
 - ・親子での体験活動等の機会の創出
- ② 幼稚園教員・保育士等の教育力向上
 - ・研修の充実
- ③ 子どもの育ちを共有する幼保小連携の促進

※ 幼児共育（ようじともいく）
生涯にわたる人格形成の基礎が培われる極めて重要な時期である幼児期の子どもを、家庭、幼稚園・保育所等、地域の三者が連携して、「目をかけ・声をかけ・心をかけ」共に育てていく本県独自の考え方。

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R2	R3	R4	R5	R6
・保護者用学習資料※を活用した講座・研修会等の実施回数 ※県生涯学習振興室作成資料	96回 (H30)	120回	130回	140回	145回	150回

主要施策 5 豊かな心の育成

1 読書活動の推進

- ① 読書活動に関する理解と意義の普及
- ② 学校・家庭・地域を通じた社会全体での読書活動の推進
 - ・学校図書館と県・市立図書館の連携による読書活動の促進
 - ・読み聞かせボランティア等との連携の推進

2 文化芸術活動の推進

- ① 学校における文化芸術活動の活性化
 - ・文化芸術の鑑賞機会の提供
 - ・「山形県における文化部活動の在り方に関する方針」に基づいた文化部活動の推進
- ② 優れた文化芸術に触れる機会の創出
 - ・ふるさと塾等の文化継承活動への支援

3 様々な体験活動・奉仕活動の充実

- ① 学校における体験活動や奉仕活動の推進
- ② 地域における様々な体験活動への参加促進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R2	R3	R4	R5	R6
・読書が好きな児童生徒の割合	小6:78.7% 中3:68.7% (H31)	小6:79% 中3:69%	小6: 79.5% 中3: 69.5%	小6:80% 中3:70%	小6: 80.5% 中3: 70.5%	小6:81% 中3:71%

主要施策 6 健やかな体の育成

1 健康教育の充実

- ① 学校における健康教育の充実
 - ・研修会の開催や専門医の学校への派遣による学校保健活動の充実
- ② 学校・家庭・地域が連携した健康教育の充実

2 食育の推進

- ① 学校・家庭・地域が連携した食育の推進
 - ・学校における「食に関する指導の全体計画」に基づいた食による心身の健康づくり等の取り組みの実施
 - ・PTA研修会等への専門家の派遣
 - ・優良事例の周知による啓発
- ② 栄養教諭等の指導力向上
 - ・研修の充実

3 体力・運動能力の向上（学校体育等の充実）

- ① 体育授業等の充実と教員の指導力の向上【拡充】
 - ・研修、外部講師派遣による小学校低学年における体育授業等の充実
 - ・地域等との連携による運動部活動のあり方の検討・実施
- ② 学校・家庭・地域が連携した体力向上の取り組みの推進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R2	R3	R4	R5	R6
・毎日朝食を摂っている児童生徒の割合の <u>全国順位</u>	小6:9位 中3:1位 (H31)	小6: 8位以上 中3: 3位以上	小6: 8位以上 中3: 3位以上	小6: 8位以上 中3: 3位以上	小6: 8位以上 中3: 3位以上	小6: 8位以上 中3: 3位以上
・子どものスポーツ実施率（1日60分以上）（小学5年生）	40.1% (H30)	45%	50%	60%	60%	60%

基本方針 Ⅲ

社会を生きぬく基盤となる 確かな学力を育成する

主要施策 7

主体的・協働的な学びによる確かな学力の育成と個々の能力を最大限に伸ばすための環境整備

1 主体的・協働的な学びによる確かな学力の育成の推進

(1) 確かな学力*を育成するための指導方法の工夫・改善の推進

- ① 学校における学力育成に向けた目標・方針のさらなる明確化の推進
- ② カリキュラム・マネジメント等による育成する学力の重点化・焦点化を図った計画的授業実施の推進
- ③ 教科等の单元ごとの学習プロセスの確立
 - ・小中学校の探究型学習推進協力校及び高等学校探究科（探究コース）の実践を踏まえた事例集の作成・普及
（課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現等までの過程の確立）
（整理・分析、まとめ・表現段階の学習の充実）
- ④ 教材等の開発の推進
 - ・効果的な教材の収集によるアーカイブス化の推進

※ 確かな学力について
「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」
「思考力、判断力、表現力等の育成」
「主体的に学習に取り組む態度の涵養」
「個性を生かし様々な人々と協働を促す」
以上の事項を、学習指導要領において示している

(2) 学校経営及び指導方法についての評価検証プロセスの充実

- ① 「アクションプラン」によるPDCAサイクルの構築【拡充】
 - ・小中学校全校での「アクションプラン」作成の充実
- ② 学力向上に係る取組みの評価検証の充実【拡充】
 - ・学力向上検討委員会による県の取組みについての協議【新規】
 - ・算数・数学、英語の評価問題等を活用した授業改善の推進【新規】
 - ・学力向上支援チームの学校訪問による指導・サポート【新規】
- ③ 授業改善に向けた学力の分析・周知普及
 - ・全国学力・学習状況調査及び山形県学力等調査の分析による授業改善
 - ・探究型学習の質の向上に向けた研究・普及
- ④ 高等学校における探究型学習の取組みを学力向上の観点から評価する仕組みの構築

【新規】

(3) 教員の指導力の向上

- ① 学校におけるOJTの推進
 - ・研修会の実施、教育マイスター等の配置
- ② 学校への指導・サポートの充実【拡充】
 - ・授業研究会等での普及
 - ・学力向上支援チームの学校訪問による指導・サポート（(2)の再掲）等
- ③ 研修の充実
 - ・教育センター・教育事務所での研修 ・大学と連携した研修 ・中央研修等の県外研修 等

(4) 今後、より必要となる資質・能力の育成【拡充】

- ① 数学的・科学的思考力等の育成に向けた理数教育の強化

- ・義務教育段階の理数教育プランの策定・実施【新規】
 - ・高等学校における理数教育の充実【新規】
 - ・科学イベントの開催や少年少女発明クラブの活動支援等科学を体験する機会の充実
- ② 読解力・情報活用能力・論理的思考力等の育成
- ・資質・能力の育成に向け効果的・効率的なカリキュラム・マネジメントの推進
 - ・今後の高大接続に対応した授業改善の促進

2 個々の能力を最大限に伸ばすための環境整備

- ① 児童生徒の理解促進による学力育成及びよりよい集団づくりのための少人数学級編制の推進
- ② 教育山形「さんさん」プランの効果検証及び今後の展開の検討
- ③ 確かな学力の育成のための効果的・効率的な体制や環境の整備【新規】
- ・小学校における国語・算数・英語等での教科担任制の検討等、教科の専門性を反映させた指導の充実
 - ・中学校における「タテ持ち※」による教科等の系統的な指導の充実
 - ・英語等での中学校教員による小学校での授業等系統的な学力育成のための小中学校連携での指導の充実
- ④ ICT の活用や産業教育振興設備の整備による環境整備（一部主要施策9のとおり）

※ タテ持ち
一つの学年のみを担当するのではなく、1学年から3学年を通して教科を担当すること

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・全国学力・学習状況調査で正答率が全国平均以上の科目数 ※年度毎の実施科目 R2:国、算・数 R3:国、算・数、理 R4:国、算・数、英 R5:国、算・数 R6:国、算・数、理	5科目中 2科目 (H31)	4科目中 2科目	6科目中 4科目	5科目中 4科目	全科目 (4/4)	全科目 (6/6)
・国語、算数・数学の勉強が「好き」な児童生徒の割合が全国平均以上の科目数 ※年度毎の実施科目 R2:国、算・数 R3:国、算・数、理 R4:国、算・数、英 R5:国、算・数 R6:国、算・数、理	5科目中 2科目 (H31)	4科目中 2科目	6科目中 4科目	5科目中 4科目	全科目 (4/4)	全科目 (6/6)
・国語、算数・数学の授業の内容が「分かる」と答えた児童生徒の割合が全国平均以上の科目数 ※年度毎の実施科目 R2:国、算・数 R3:国、算・数、理 R4:国、算・数、英 R5:国、算・数 R6:国、算・数、理	5科目中 2科目 (H31)	4科目中 2科目	6科目中 4科目	5科目中 4科目	全科目 (4/4)	全科目 (6/6)
・学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点の指導計画を作成している学校割合	小：85.4% 中：78.6% (H31)	小：89.5% 中：84%	小：93% 中：89.5%	小：96.5% 中：95%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%
・県内大学等への県内進学者の割合	30.8% (速報値) (H31.4)	31%	31.5%	32%	32.5%	33%

主要施策 8 グローバル化等に対応する実践的な力の育成

1 グローバル化に対応した外国語（英語）教育の推進

(1) 英語授業の改善・充実

- ① 小・中・高等学校の接続を踏まえた授業改善や環境整備
 - ・小・中・高等学校を通してより実践的な英語力を育成するための英語教育プランの策定【新規】
 - ・中学校における英語評価問題等の作成【新規】
 - ・中学校教員による小学校での外国語の授業や小・中学校教員の相互乗り入れによる授業等の実施のための体制整備の検討・実施【新規】
 - ・小・中・高等学校教員や専科指導教員による合同研修
- ② 学校における外国人等との交流機会の積極的活用による授業改善の推進【新規】
 - ・外国人留学生やICT活用による海外在住外国人との交流の創出
- ③ 外部人材等の積極的活用による授業改善の推進
 - ・外国語指導助手（ALT）の配置及び研修の実施、外部講師を活用した授業の実施や教員研修の実施

(2) グローバルな視野を広げる学習等の推進

- ① 多様な文化への理解や国際的な視野を広げる学習等の推進
 - ・ICTによる海外姉妹校との交流の促進
- ② 高校生の海外留学等の支援

(3) 教員の英語力の向上

- ① 教員の英語指導力の向上
- ② 英語力のある教員の採用

2 「グローバル」な視点を踏まえた地域課題に向き合う力の育成

- ① 地域課題の解決を図るための探究的な学びの推進【拡充】
 - ・地域での社会体験等を含めた探究型学習
 - ・地域における様々な体験活動
- ② 高大連携・産学連携の促進による実践的な力の育成
 - ・専門的な研究に触れる機会、先進的な技術・最新機器について学ぶ機会の創出

3 環境教育の推進

- ① 県環境教育指針に基づく環境教育の推進
- ② 研修による教員の指導力の向上

4 主権者教育・消費者教育の推進

- ① 主体的・協働的に社会に参画するための主権者教育の推進
- ② 自立した消費者を目指した消費者教育の推進

5 高等教育の充実

- ① 県内高等教育機関における地域のニーズに対応した人材の育成
 - ・保健医療、栄養、農林業、ものづくり等の分野における人材の育成

- ・農林業分野での専門職大学の設置
- ② 高等教育機関相互の連携による取組みの支援
- ・「大学コンソーシアムやまがた」の場の活用による「地域連携プラットフォーム（仮称）」※の構築の促進

※ 地域連携プラットフォーム（仮称）
地域の複数の高等教育機関が、地方公共団体、産業界を巻き込んで、将来像を議論や連携、交流の企画を行う恒常的な体制（2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（平成30年11月文部科学省中央教育審議会答申）で提唱）

6 学びのセーフティネットの整備

- ① 学習や社会生活に困難を有する者への支援
- ・経済的困難を抱える家庭等に対する就学支援・援助や学び直しを希望する者等への支援の検討
 - ・SCやSSW等の配置、教育支援センター、フリースクール等との連携強化による不登校や不登校傾向の児童生徒への支援【拡充】
- ② 東日本大震災で被災した児童生徒への支援

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・CEFR A1レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる中学生の割合	36.4% (H30)	50%	50%	50%	50%	50%
・CEFR A2レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる高校生の割合	43.2% (H30)	50%	50%	50%	50%	50%
・CEFR B2レベル相当の英語力のある英語担当教員の割合	中:29.1% 高:60.3% (H30)	中:50% 高:85%	中:50% 高:85%	中:50% 高:85%	中:50% 高:85%	中:50% 高:85%
・地域課題の解決に向けた探究型学習に取り組む県立高校の割合	65.4% (R1)	68%	70%	73%	76%	80%

※ CEFR（Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment：外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠）
CEFRは、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会が発表した。

- A1：実用英語技能検定（英検）3級程度（よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる等。）
A2：英検準2級程度（ごく基本的な個人情報や家族情報等、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる等）。
B2：準1級以上（抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる等。）

主要施策 9

ICTを活用した情報活用能力の育成

1 ICTを活用した学習の充実【新規】

- ① ICTを活用した学習を効果的に推進するための「ICT教育アクションプラン」の作成・活用
- ・環境整備と授業等についての計画の策定・推進【新規】
- ② 情報活用能力及び情報リテラシーの育成に向けた各教科におけるICTを活用した学習の推進
- ・最新の学習ソフトの活用やEdTech※等の民間サービス活用も視野に入れた学習の推進【新規】

※ EdTech：Education（教育）× Technology（科学技術）を掛け合わせた造語。AI、IoT、VR等のテクノロジーを活用した革新的な能力開発技法。

- ・適切なSNS等の活用や利用におけるリスク等も含めた情報リテラシー育成のための学習

2 学校におけるICT環境の整備

- ICT教育環境の効果的・効率的な整備の促進
 - ・「GIGAスクール構想の実現」※に向けた市町村による小・中学校の校内通信ネットワークの整備や児童生徒1人1台端末の整備等の促進【新規】
- 県立学校におけるICT教育環境の整備・充実【拡充】
 - ・計画的なICT機器導入の推進 等
- ICT教育における外部人材の活用の推進
 - ・地域人材等の外部人材の活用

※ 「GIGAスクール構想の実現」：Global and Innovation Gateway for All
子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向け、令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境を整備する構想

3 教員のICT活用指導力の育成

- 教員のICT活用指導力の向上にむけた研修等の充実

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R2	R3	R4	R5	R6
・児童生徒のICT活用を指導することができる教員の割合	72.8% (速報値) (H31.3)	73.0%	73.5%	74.0%	74.5%	75.0%
・学校におけるICT環境の整備（県立高校における無線LAN整備率）	19.6% (H31.3)	19.6%	40%	60%	80%	100%

主要施策 10

自己実現を図るための勤労観・職業観の育成

1 系統的・体系的なキャリア教育の推進

- 小・中・高等学校を通じたキャリア教育の充実
 - ・キャリアパスポートを活用した教育活動全体を通じたキャリア教育
- 地域と連携したキャリア教育の推進（職場体験・インターンシップ等の充実）【拡充】
 - ・IT企業等これまで連携のなかった業種の企業でのインターンシップの拡大
- キャリア教育における外部人材の活用
 - ・外部人材によるインターンシップのマッチングやキャリアカウンセリング等の支援
- 特別支援学校におけるキャリア教育の推進（主要施策11の3の② 自立と社会参加を目指したキャリア教育や就労支援等の充実のとおり）

2 県内で自己実現を図り活躍する人材を育成する取組みの促進

- 地域と連携したキャリア教育の推進（職場体験・インターンシップ等の充実）
(1の②の再掲)
- 県内大学等との連携による県内進学への促進【拡充】
 - ・中・高校生への地元大学の魅力を知る体験等の充実
 - ・県内高等教育機関等に関する情報発信
- 県内就業の促進
 - ・職場体験、インターンシップ、生徒や保護者を対象とした地域企業の魅力を伝える取組みの充実
 - ・本県の就職情報、県内企業の情報発信

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合【再掲】	小6:84.8% 中3:72.3% (H31)	小6: 86.0% 中3: 73.0%	小6: 86.5% 中3: 73.5%	小6: 87.0% 中3: 74.0%	小6: 87.5% 中3: 74.5%	小6: 88.0% 中3: 75.0%
・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦する児童生徒の割合	小6:81.4% 中3:74.5% (H31)	小6:82% 中3:75%	小6:83% 中3:76%	小6:84% 中3:77%	小6:85% 中3:78%	小6:86% 中3:79%
・県内大学等への県内進学者の割合 (主要施策7の再掲)	30.8% (速報値) (H31.4)	31%	31.5%	32%	32.5%	33%
・高校生の県内就職率 ※県内就職内定者数／ 全就職内定者数	77.9% (H30)	80% 以上	80% 以上	80% 以上	80% 以上	80% 以上
・就職を希望している高校生の就職率	99.5% (H30)	100%	100%	100%	100%	100%

基本方針
V

特別なニーズに対応した教育を推進する

主要施策 11 特別支援教育の充実

1 共生社会の形成を目指した特別支援教育の理解・啓発の推進

- ① インクルーシブ教育システム*や共生社会についての周知・啓発
- ② 障がいがある子どもたちとない子どもたちとの交流及び共同学習の充実・拡大【拡充】
 - ・特別支援学校の児童生徒が居住地の学校での交流を推進するための人的配置に対する支援の充実

※ インクルーシブ教育システム「障害者の権利に関する条約」に示されている考え方で、共生社会の形成に向けて、障がいのある人と障がいのない人ができるだけ同じ場で共に学ぶ仕組みのこと

2 学校における特別支援教育の充実

- ① 就学前から社会参加までの切れ目ない支援に向けた関係機関との連携強化
 - ・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成及び確実な引継ぎの実施の推進
- ② 小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実【一部拡充】
 - ・高等学校における「通級による指導」実施校の拡大
- ③ 特別支援学校における教育の充実
 - ・ICT活用等によるコミュニケーションや学習等の支援の充実
 - ・「山形県特別支援学校再編・整備計画」に基づく校舎の老朽化や高等部就労コース設置等の取組みの推進
 - ・医療的ケアを必要とする児童生徒への支援体制の整備や特別支援学校における通学支援の在り方の検討【新規】
- ④ 教員の専門性の向上

3 社会参加に向けた支援の充実

- ① 進学や資格取得に向けた学力の充実

- ② 自立と社会参加を目指したキャリア教育や就労支援等の充実
 - ・就労支援コーディネーターの配置
- ③ スポーツ・芸術・文化に取り組む機会の充実

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・特別支援学校における特別支援学校教諭免許状保有率	89.5% (H30)	90%	92%	94%	96%	98%
・障がいのある幼児児童生徒に対する「個別の指導計画」の作成率 (通級による指導、通常の学級)	通級:74.0% 通常:93.4% (R1)	通級: 100% 通常: 96%	通級: 100% 通常: 97%	通級: 100% 通常: 98%	通級: 100% 通常: 99%	通級: 100% 通常: 100%

基本方針
VI

魅力にあふれ、
安心・元気な学校づくりを推進する

主要施策 12 **子どもの学習意欲を喚起する環境づくりの推進**

1 より子どもと向き合うための学校における働き方改革の推進

- ① 教職員の業務の適正化による多忙化解消【新規】
 - ・「山形県公立学校における働き方改革プラン（第Ⅰ期）に基づく取組みの推進【新規】
 - ・専門スタッフの配置
- ② 統合型校務支援システムの導入
 - ・全県立高等学校及び県立中学校での統合型校務支援システムの導入
- ③ 教職員の健康管理の推進

2 適性のある優れた教員の育成・確保

- ① 教員指標に基づく大学と連携した戦略的な教員養成の展開や適性のある人材の確保
 - ・継続した教員採用試験の内容及び方法の工夫・改善
- ② 教員の資質・能力、指導力の向上
 - ・「山形県教員研修計画」に基づく研修の実施、中央研修等への派遣
- ③ 経営力に優れた管理職の育成・登用

3 安全安心な教育環境の整備

- (1) 安全安心で良好な学校施設の整備
 - ① 公立学校の耐震化等の取組みの推進
 - ② 県立学校施設の老朽化及び長寿命化対策等の推進
 - ・高等学校の普通教室等への冷房設備の計画的な整備
- (2) 学校における安全管理の推進【拡充】
 - ① 学校安全計画及び危機管理マニュアルの検証・改善

- ・学校の「危機管理マニュアル」等の最新情報の反映等の推進
- ② 学校・家庭・地域が連携した対応及び学校安全体制の充実
 - ・地域学校安全指導員の配置拡充、学校安全ボランティアの養成
- (3) 安全教育（生活安全・交通安全・災害安全と防災教育）の推進
 - ① 児童生徒の主体的に行動する態度と安全への意識の育成
 - ・児童生徒の危険予測・回避能力等の育成
 - ② 安全教育に係る教職員の資質・能力の向上
 - ・安全教育指導者研修会等による教員の指導力の向上

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・複数月平均の超過勤務時間が80時間を超える教員数	小:87人 中:445人 特支:2人 高:441人 (R1.10)	前年度より 40%減	前年度より 40%減	0人	0人	0人
・健康診断時における要精密検査該当者の精密検査受診率（教職員）	91.3% (H30)	95%	97%	98%	99%	100%
・学校管理下における事故災害で負傷する児童生徒の割合	8.1% (H30)	8.0% 未満	8.0% 未満	8.0% 未満	8.0% 未満	8.0% 未満

主要施策 13 時代の進展に対応した学校づくりの推進

1 生徒の学びと地域を支えるための県立高校の再編整備

- ① 県立高校の再編整備に関する基本方針等と各学科の配置
 - ・「県立学校再編整備基本計画」に基づく再編整備
 - ・地域と連携した魅力ある学校づくりの推進
- ② 特色ある学校の配置
 - ・専門高校等の再編整備の検討
 - ・庄内中高一貫校（仮称）の開校
- ③ 各地区の県立高校の再編整備
 - ・各地区の県立高校再編整備計画の実施、検討・策定

2 特色ある学校づくりの推進

- ① 高等学校における特色ある学校づくりの推進
 - ・普通科改革等の学科の在り方の検討
 - ・少子化による学校の小規模化に対応し、地域と連携・協働した教育活動の推進
- ② 市町村による「活力ある学校」づくりに向けた取組みへの支援

主要施策 14 私立学校の振興

- ① 私立学校の振興・発展に向けた私学助成
- ② 保護者の負担軽減を図るための支援
- ③ 私立学校の耐震化の促進

基本方針 VII

郷土に誇りを持ち、 地域社会の担い手となる心を育成する

主要施策 15 郷土愛を育み、地域と協働する教育の推進

- ① 郷土を学ぶ学習や地域の資源を活用した様々な体験活動等の推進
 - ・学校におけるそれぞれの特色に応じた体験活動や地域を知る活動の充実
 - ・各校や各市町村作成の地域教材等の集約・情報提供
 - ・社会教育施設における地域に関わる講座や活動の促進
 - ・地域の人や文化等を知る取組みの促進
- ② 地域課題の解決を図るための探究的な学び及び地域と連携したキャリア教育の推進
(主要施策8の2の① 及び 主要施策10の1②の再掲)
- ③ 県民の歌、スポーツ県民歌の普及の推進
 - ・県立学校における様々な機会での県民の歌、スポーツ県民歌の活用・普及の推進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・地域の行事に参加している児童生徒の割合	小6:85.7% 中3:65.9% (H31)	小6:	小6:	小6:	小6:	小6:
		90%	90%	90%	90%	90%
		中3:	中3:	中3:	中3:	中3:
		70%	70%	70%	70%	70%
・地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童生徒の割合	小6:61.1% 中3:48.7% (H31)	小6:	小6:	小6:	小6:	小6:
		63%	65%	67%	69%	70%
		中3:	中3:	中3:	中3:	中3:
		50%	52%	53%	54%	55%

主要施策 16 山形の宝の保存活用・継承

1 地域における文化財の総合的な保存・活用方針等の策定・推進

- ① 「文化財保存活用大綱」の策定・文化財の保存活用の推進【新規】
- ② 市町村における「文化財保存活用地域計画」策定の促進【新規】

2 本県の特徴ある文化財の活用促進

- ① 「未来に伝える山形の宝」登録制度を活用した文化財の理解促進
 - ・市町村における登録の促進
- ② 日本遺産の活用
 - ・県内外への情報の発信、人のつながりができる交流の場づくり

3 地域の貴重な資源である伝統文化の担い手の育成

- ① ふるさと塾賛同団体等の取組みの推進
 - ・活動への支援、県外・海外への情報発信
- ② 民俗芸能団体への支援
 - ・民俗芸能団体のネットワーク構築の推進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・「ふるさと塾」の活動に賛同して伝承活動をする団体数	305 団体 (R1.9)	306 団体	307 団体	308 団体	309 団体	310 団体
・「未来に伝える山形の宝」登録制度による登録市町村数	23 市町村 (H30)	26 市町村	28 市町村	30 市町村	32 市町村	全市町村

**基本方針
Ⅶ**

活力あるコミュニティ形成に向け、
地域の教育力を高める

主要施策 17 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

1 社会全体で教育を支え、教育に取り組む気運の醸成

- ① 「やまがた教育の日」の周知・普及活動の推進
- ② 社会全体で教育を支援する取組みの推進
 - ・学校・家庭・地域が連携した取組みの推進
 - ・「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の取組み

2 学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育む環境づくりの推進

- ① 地域学校協働活動の充実
 - ・地域住民、地元企業、NPO・地域団体、PTA等幅広い主体の参画による連携・協働方法や活動内容の拡大【拡充】
- ② 学校運営協議会制度の導入（コミュニティ・スクール）の促進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・ <u>地域学校協働本部の仕組みを生かし、地域住民等との協働による活動が行われている公立小中学校の割合</u>	35.4% (H30)	45%	55%	65%	70%	70%

主要施策 18 青少年の地域力の育成・地域活動の促進

1 児童生徒の地域活動の促進

- ① ボランティア活動の推進
 - ・地域のボランティア活動の情報集約・発信による中学生等のボランティア体験の促進
- ② 郷土を学ぶ学習や地域の資源を活用した様々な体験活動等の推進
(主要施策 15 の 1 の①の再掲)
- ③ 地域課題の解決を図るための探究的な学びの推進 (主要施策 8 の 2 の①の再掲)

2 青年による地域活動の促進及び青少年リーダーの育成

- ① 若者が活躍できる環境づくりの推進
 - ・若者同士の交流・協働の場の創出
- ② 地域活動に取り組む青少年リーダーの育成【拡充】
 - ・青年リーダーと中・高校生による地域活動への取組みの推進

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・高校生のうち、ボランティア活動に参加した生徒の割合	82.7% (H30)	84%	88%	92%	96%	100%
・地域活動に取り組む青年グループ数	27 市町村 75 団体 (H30)	全市町村 77 団体	全市町村 78 団体	全市町村 79 団体	全市町村 80 団体	全市町村 82 団体

主要施策 19 地域の教育力を高める生涯学習環境の充実

1 地域における身近な学びの場づくりの促進

- ① 地域課題の解決に向けた講座等多様な学習機会の提供や学習情報の発信
 - ・県生涯学習センターとの連携による情報提供
 - ・公民館やコミュニティセンター等の講座等の情報集約・発信

2 社会教育施設の機能の充実

(1) 知の拠点としての県立図書館の機能の充実【拡充】

- ① 県民の知的活動を支えるとともに賑わいの拠点となる図書館づくりの推進
 - ・図書資料の充実、調査相談能力の向上、企画展示・イベントの充実
- ② 県内公共図書館の中心的役割としての機能の充実
- ③ 県民の読書活動の推進やICTの推進による資料の活用・保存等の充実
 - ・郷土資料のデジタル化、インターネット利用の情報サービスの提供

(2) 県立博物館の機能の強化

- ① 本県の魅力発信に向けた展示・企画
 - ・国宝土偶「縄文の女神」等を活用した文化財の展示や企画
- ② 多様な学びと交流機会の拡大及び学校教育への支援
 - ・地域や学校に出向くアウトリーチ活動の展開
- ③ 社会的ニーズを踏まえた博物館の機能強化の検討

(3) 青少年の体験活動を支援する社会教育施設の機能の充実

- ① 少年自然の家の機能の充実
 - ・地域資源を活用した活動プログラム等の実施
- ② 県青年の家の機能の充実
 - ・各団体の活動の周知・普及による個々の団体におけるボランティア活動等の活性化の促進

3 地域の学びを支える人材育成の促進

- ① 社会教育士や社会教育主事等社会教育の中核となる人材の育成促進
 - ・社会教育士・社会教育主事の養成のための研修への支援
 - ・高等教育機関との連携による研修情報等の提供

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・公民館等で開催されている各種事業・講座等への参加人数	523,761 人 (H29)	547,300 人	547,400 人	547,500 人	547,600 人	547,700 人

基本方針 IX

地域に活力を与える 文化とスポーツを推進する

主要施策 20 県民に喜びと心の安らぎを与える文化の推進

1 文化に親しむ環境づくりの促進

- (1) 文化に親しむ機会の充実
 - ① 県民の芸術鑑賞機会の充実
 - ・美術館、博物館、山形県総合文化芸術館等での公演
 - ② 郷土を知る機会の充実
 - ・県立図書館、県立博物館、考古資料館における魅力ある企画展・講座等の開催
 - ③ 学校・地域における文化芸術活動の推進
 - ④ 県内の文化情報の県内外への発信の充実
- (2) 文化施設の充実及び活用促進
 - ① 文化施設における質の高いサービス提供の推進
 - ・山形県総合文化芸術館、置賜文化ホール等における施設・設備・サービスの提供
 - ・県立図書館、県立博物館における展示、企画展の充実
 - ② 文化施設相互のネットワーク活動の充実
- (3) 文化に関わる人材の育成等
 - ① 地域の文化活動団体の活動推進
 - ・「子ども伝承活動 ふるさと塾」による地域の伝統文化を伝承する取組み等の推進
 - ② 文化事業の企画・運営等を行う人材の育成

2 文化を活用した地域活性化の促進

- (1) 伝統文化・文化財を活用した地域づくりの推進
 - ① 「未来に伝える山形の宝」登録制度の活用（主要施策 16 の2の①の再掲）
 - ② 日本遺産の活用（主要施策 16 の2の②の再掲）
 - ③ 埋蔵文化財の活用

(2) 文化施設等と地域の連携による賑わいづくりの推進

① 県民の知的活動を支えるとともに賑わいの拠点となる図書館づくりの推進【拡充】

(主要施策 19 の 1 (1) の①の一部再掲)

② 山形県総合文化芸術館、郷土資料館等の活用

③ 県立博物館の魅力発信、多様な学びと交流の機会拡大

- ・国宝土偶「縄文の女神」等を活用した文化財の展示や企画

(主要施策 19 の 2 (2) の①の再掲)

- ・地域や学校に出向くアウトリーチ活動の展開 (主要施策 19 の 2 (2) の②の再掲)

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値 (工程)				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・ 県立文化施設等の来館者数 (仮)	870,200 人 (H29)	検討中				

主要施策 21 県民に元気と感動を与えるスポーツの推進

1 生涯を通して楽しめるスポーツ活動の推進

① ライフステージに応じて楽しめるスポーツ機会の提供

- ・スポーツレクリエーション等による交流創出

② 地域等との連携による運動部活動の見直し【拡充】

- ・地域等との連携による部活動のあり方の検討及び取組みの実施

(主要施策 6 の 3 の①の再掲)

③ スポーツ環境の充実

- ・スポーツ指導者等の確保・養成
- ・学校体育施設等の有効活用等のスポーツ活動の場の充実

2 トップアスリート育成に向けた支援・強化策の推進

① オリンピアン輩出に向けた強化策の確立

- ・医・科学的トレーニングの提供
- ・全国規模の大会の計画的開催による選手の強化・育成

② ジュニア期からトップレベルに至る戦略的支援の充実・強化

- ・各関係機関と連携した一貫指導体制の構築
- ・次世代アスリートの発掘・育成

③ 誠実、健全及び高潔なスポーツ活動の推進【新規】

- ・研修会等の実施
- ・県内競技団体によるスポーツ団体ガバナンスコードの策定・活用の促進

3 スポーツを通じた地域活性化の推進

- ① スポーツを通じた地域の賑わいづくりの推進【新規】
 - ・国内外からのスポーツ大会、合宿等の誘致・受入支援
 - ・地域資源を活用した「スポーツツーリズム」の推進
- ② スポーツ施設等の有効活用による地域活性化の促進
- ③ トップアスリート・指導者の県内回帰・定着及び活躍の場の拡充
 - ・企業等との連携によるトップアスリート・指導者の活躍の場の拡充

【主な重要業績評価指標(KPI)】

KPI	現状値	指標値（工程）				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
・成人の週1回以上のスポーツ実施率	39.5% (R2.1)	46.3%	53.1%	60%	60%	60%
・インターハイ入賞数	夏季:45 冬季:24 (H30)	夏季: 40以上 冬季: 15以上	夏季: 40以上 冬季: 15以上	夏季: 40以上 冬季: 15以上	夏季: 40以上 冬季: 15以上	夏季: 40以上 冬季: 15以上
・国民体育大会天皇杯順位	34位 (H30)	20位台	20位台	20位台	20位台	20位台
・オリンピック等国際舞台で活躍する選手の輩出	—	日本選手団選手数の1%以上(東京)	—	日本選手団選手数の1%以上(北京)	—	日本選手団選手数の1%以上(パリ)